

福島小だより

学校通信

めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
第3号 令和5年6月1日



甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

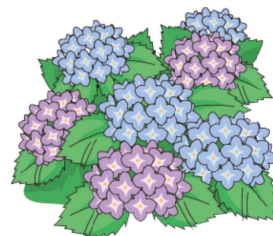
〇コロナ5類移行後の学校生活

5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類感染症に変更されました。これまで制限されてきた、多様な児童が集う学校ならではの児童同士の触れ合いを基盤とした集団的な活動や体験的な活動ができるようになります。

制限されてきたものの一つに、5年生の宿泊体験活動があります。かつて妙義青少年自然の家において1泊2日の宿泊体験活動を行っていたものですが、今年は町内3小学校の5年生が同じ日程（※11月9日～10日）で甘楽ふるさと館に宿泊をし、町内の施設や地域の方々の御協力をいただきながら、様々な体験活動を実施する予定です。町内の教員が集まって教育研究を行う甘楽町教育研究所において、その体験活動のプログラムを開発し、町内の5年生が実践をします。

その他にも、調理実習やマスクを外しての合唱、会話のある給食などできるようになりましたが、換気や手洗いなどの基本的な感染対策は継続しながら、児童の健全育成に努めて参ります。

※当初予定11月1日～2日から変更となりました。



〇避難訓練及び児童引き渡し訓練

地震発生を想定した避難訓練及び児童引き渡し訓練を実施しました。最初に揺れを思わせる音が放送で流れると、児童は机の下にもぐって身を守りました。次に、停電を想定して教員が各階を回り拡声器で避難指示を出し、児童は校庭南側へ避難しました。

子どもたちは、避難の合言葉「お(おさない)・は(はしらない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)」を守り、素早く避難場所の校庭南側へ集合することができました。

その後、体育館にて引き渡し訓練を実施しました。御家族の皆様の御協力、大変ありがとうございました。

日本中で大小様々な地震が頻発する昨今、大きな地震があったらどう行動することが安全なのか、学校内だけに限らず、自ら考え安全な行動がとれるようになってほしいと思います。



〇クラブ活動スタート

4年生～6年生の児童が参加するクラブ活動がスタートしました。月に1～2回程度、木曜日の6校時に行います。

「スポーツ」「理科」「ものづくり」「昔遊び」の4つのクラブの中から児童が自ら選択し、年間を通して一つのクラブで活動します。

